

真空溶解せる鋼の性質に関する研究 (I) 焼入時効硬化について. 山田良之助, 外...141~145

軸受鋼の連続冷却変態線図について.

多賀谷正義, 外...145~149

Heat-Checking に関する研究 (II) 熱間工具鋼における実験と観察 (2) 藤原達雄...149~153

不銹鋼の光輝加熱に関する研究 (I)

金属塩化物の利用. 染野 檀...153~157

5% クロムダイキャスト型鋼におよぼすVおよびWの影響...小柴定雄, 外...157~163

Strain Tempering に関する研究 (II)

珪素鋼板の異方性におよぼす影響について.

京谷益次, 外...163~166

Fe-Ni-Al 系析出型磁石合金の磁性におよぼす Si 含有量の影響. 小柴定雄, 外...166~169

#### 材料試験 6 (1957) 5

調質圧延軟鋼板の圧下率と残留応力とに関する一考察  
桜井忠一...298~302

#### 土木学会論文集 No. 44 (1957)

鑄鉄管の残留応力について. 薄田正一...22~27

#### 一研究機関誌一

#### Report of Transportation Technical Research Institute No. 24 (1957)

Effect of Welding Sequence on Transverse Shrinkage and Residual Stresses.

Hiroshi Kihara, et alii

#### 岐阜大学工学部研究報告 No. 7 (1957)

軟鋼の疲労硬化特性におよぼす温度の影響.

安藤善司, 外...48~54

#### 一会社刊行誌一

#### 日立評論 39 (1957) 4

高合金工具鋼の熱処理に関する研究 (I) 高炭素高クロム鋼の残留オーステナイトの分解におよぼすサブゼロ処理の影響. 根本 正, 外...503~507.

球状セメントタイトの電子顕微鏡的研究.

菊田光男, 外...509~513

ニュース 681 ページより続く

特許記事 685 ページより続く

#### 八幡高炉塔建立

八幡製鉄では、八幡市市政 40 周年の記念事業として同市熊本山公園の頂上に、鉄都を象徴する高炉塔 (群像男女 4 体) を建立した。炉体の高さは 18m, 基底部径 5.5m, 炉体は鉄筋コンクリート, 表面はタイル張りで耐火煉瓦色, 人像は青春, 勤労, 自由, 平等を象徴する男女 4 人のブロンズ製で高さ約 4m 製作は樽谷清太郎氏, 八幡市ではこの一帯を高炉台と呼称する由。

昭 32—2755 鋼の急速脱硫方法 (レン・ペーリー外 1) ソシエテ・テレクトロシミ・デレクトロメタルヂ・エ・デアシエレ・エレクトリック・デユジーヌ (仏) 被処理鋼を加熱処理する際これに石灰と螢石とを 15~40% と 85~60% の重量割合での処理剤を添加する方法。

昭 32—2757 管状材料から鱗を圧延するに用いる成形ロール (略) (レーモンド・エツチ・グリーン) カリユームツト・エンド・ヘクラ・インコーポレーテッド (米)

登録 オイレス 商標

# 含油軸受メタル

寿命が延びて修理と注油の時間が減りそれだけ生産が増進する

高温高荷重耐摩耗

# 300 (含油鑄鉄材)

耐摩耗緩衝性強靱

# 250 (含油合成樹脂材)

無給油メタル

# 100 (含油木質)

一層強力を要する場合は含油ミーハナイト材

日本オイレスベアリング研究所代理店 **三和機械株式会社**

東京都千代田区神田佐久間町 3-24

電話 下谷 (83) 7 4 2 6 番

連絡事務所 室蘭, 釜石, 名古屋, 大阪, 広島

## — 特 許 記 事 —

(Patent Section)

- 公告番号 発明の名称 (発明者) 出願人  
特許出願公告 (昭和 32—3—30)
- 昭 32—2006 珪素鋼板の絶縁被覆生成方法 (松田亀松) 八幡製鉄K.K.  
珪素鋼板表面に重クロム亜鉛の 10~60 重量%の水溶液を均一に薄く塗布しこれを 500~700°C 温度に 10~40 秒間加熱することにより珪素鋼板表面に薄く均一の絶縁被覆を生成させる方法。
- 昭 32—2007 ニトロナフタレンを主剤とする鉄鋼の腐蝕抑制方法 (富田圭一外1) 日本鋼管K.K.  
ニトロナフタレンを主剤とし、これにアムモニアを添加し、または添加しないものを使用する方法。  
特許出願公告 (昭和 32—4—22)
- 昭 32—2458 フェロ・タングステンの製造法 (吉田 勝) 図所忠則外1  
微粉碎した炭素粒を充填して内部炉壁としその外辺に近い側に水冷管を埋設し炭素電極を具えかつ瓦斯抜管を附した炉蓋をもつて中央空間上部を覆うとき構造の電気抵抗炉を用い、中央空間にタングステン化合物、鉄化合物および炭素粒末を混合装入し、水冷管に通水しつつ通電し、半熔融状において還元する方法。
- 昭 32—2459 高チタニウム・高炭素鉄合金 (クラウス・デー・ゲツツエル外3)  
シンターキャスト・コーポレーション・オブ・アメリカ (米)  
重量比で少くとも約 10% のチタニウムが全量実質的にチタニウムベース炭化物相として結合され、そのチタニウムベース炭化物が鉄を主合金成分とする鉄基質中に実質的に均等に分散している熱処理可能の高チタニウム高炭素鉄合金。
- 昭 32—2465 鋳物砂の固結を任意時間にする鋳型の製作法 (池田謙一) 同人  
鋳物砂に珪酸ソーダ、珪酸カリ、シリカゾル液またはそれらの混合物と珪弗化ソーダおよびアルミン酸ソーダを混合したものを第1緩結材とし、さらに重炭酸塩類と鋳物砂を混合したものを急結砂としました水溶性有機化合物と鋳物砂を混合したものを第2緩結材とし、これ等3者の混合量を調節する法。  
特許出願公告 (昭和 32—5—1)
- 昭 32—2652 線材無酸化連続熱処理方法 (金原正二外1) K.K.二葉製作所  
第1端子槽には塩化アムモニウムを主成分とする水溶液、第2端子槽には苛性ソーダを主成分とする熔融浴をそれぞれ使用して導電電極としその間に涉りて線材を連続的に走行しつつ電流を通じ、熱処理するに際して両端子槽の中間に炉体を設け該炉体の内部および第2端子槽側入口に還元性雰囲気を生じ空気と線材との接触を阻止しつつ熱処理する方法。
- 昭 32—2653 磨鋼帯焼戻法 (岸 篤三) 同人  
磨鋼帯を2枚の挟圧板の間に挟圧した状態で熔融鉛液の中に沈潜通過させその熔融熱により焼戻し加熱をおこなう方法。
- 昭 32—2654 ジャロサイト鉱の処理法 (赤堀英三) 鋼管鉱業K.K.  
総鉄分 35~50%、硫黄分 1.0~2.5% 程度のジャロサイト鉱と褐鉄鉱との粉碎された混合物から成る原料鉱石をリングおよびボールの形成防止用の別の2次空気送入口付きの回転炉の上端から逐次装入し、他端から微粉炭を軸線方向の位置を調節し得るようにしたバーナーで燃焼させて吹込み焙焼温度を 1200°C 前後に保ちリングおよびボールの形成を阻止しながら処理する方法。  
特許出願公告 (昭和 32—5—10)
- 昭 32—2752 鋼から成る物体の表面焼入用バーナー (ハンス・ウキルヘルム・グレーネグレス)  
パウル・フェルド・ペツディングハウス (独)  
(略)
- 昭 32—2753 堅型製鉄炉における鎔滓の成分調整法 (児玉惟孝外3) 金森九郎, 八幡製鉄K.K.  
石灰、砂などの造滓剤を粉状乃至微粉状としこれを堅型製鉄炉の通常羽口または傾斜吹精羽口を通じ高压空気によつて直接湯溜内鎔滓中またはその近傍に圧入する方法。
- 昭 32—2754 主成分としてニッケル、アルミニウムおよびコバルトを含有する鉄合金製磁氣的異方性永久磁石の製造法 (アドルフ・ジヨハネス・ジャコブス・コツホ外2)  
エヌ・ブイ・フィリップス・グロエランペンファブリケン (和)  
(略) (以下 684 ページへ続く)